
ミニシンポジウム 「ケトライド」

特別発言

中田絃一郎

近年、肺炎球菌のペニシリン耐性、マクロライド耐性さらにはキノロン耐性が問題になってきておりますが、新規に上市されたテリスロマイシンはこれらの薬剤耐性菌にも効果がある薬です。大変有用な薬だけに、今後大事に使っていく必要があります。

昨日と本日の御報告からテリスロマイシンには緑膿菌に対するsubMIC効果やバイオフィーム抑

制効果はあるもののマクロライドに見られるような抗炎症作用、その他の新作用は現在のところないようです。従ってマクロライド少量長期投与のような使われ方はしないとは思いますが、耐性化を予防するために適正使用の原則を守り、長期投与は行わない、かぜ症候群には投与しないということを一一般の先生方に広く啓蒙していく必要があると思います。